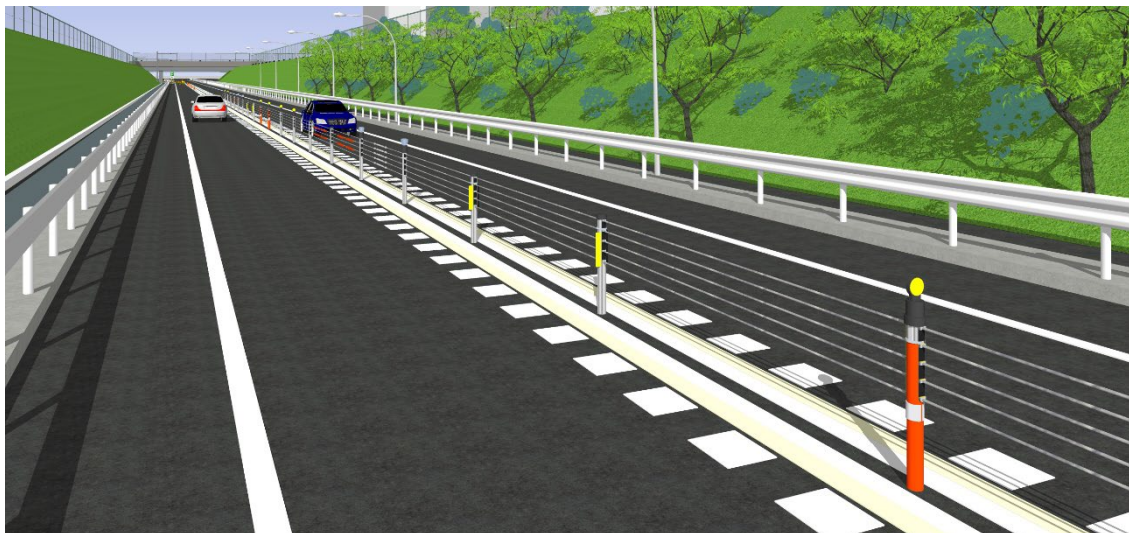


【別紙】

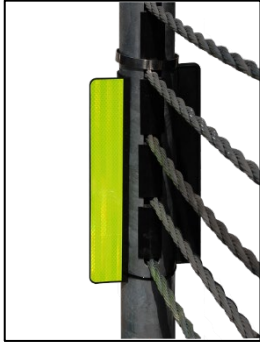
高規格幹線道路の暫定二車線区間に設置される「ワイヤロープ式防護柵」

ドライバーからの視認性を向上し、安全に寄与する製品のご紹介



■ワイヤロープ式防護柵に安全対策製品を設置したイメージ図

支柱側面反射材「サイドウィング」

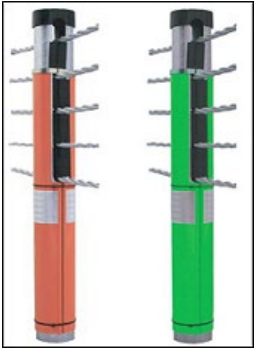
設置箇所	支柱側面	
製品概要	「サイドウィング」は、合成ゴム製の基材に超高輝度反射シートを貼りつけた本体を、支柱側面に張り出して設置することで、ドライバーの防護柵への視認性を向上させる反射材です。	
① 超高輝度反射	主に道路標識などに使用される蛍光色の広角プリズム型反射シートを使用し、反射性能を確保します。	
② 片側 200g と軽量	金属製でないため、接触車両の損傷やドライバーへの被害を最小限に抑えられます。	
③ 防護柵の機能を阻害しない構造	車両衝突時に全数のワイヤロープで衝突荷重を受け止められるように、ワイヤロープ式防護柵の機能を阻害しない構造です。	

■サイドウィング製品写真

支柱カバー「ヴィカバー」

設置箇所	支柱全体	
製品概要	蛍光色を採用した 軽量の支柱用カバーです。メッキ色の支柱に後付けでき、ワイヤロープ式防護柵の視認性を高めます。薄暮時や夜間でもドライバーからわかりやすく注意喚起が期待できるため、接触事故の防止につながります。	

【別紙】

<p>① 簡単施工：半円形状の2枚の本体を、両面テープと結束バンドで取り付ける簡単施工です。施工時間は1本で、3分程度。</p>	 <p>■ ヴィカパー製品写真</p>
<p>② 1枚 250gと軽量：重ねて保管できるため在庫に場所を取りません。また金属製でないため、接触車両の損傷やドライバーへの被害を最小限に抑えられます。</p>	
<p>③ ワイヤロープ用切り欠き部のある構造：車両衝突時に全数のワイヤロープで衝突荷重を受け止められるように、支柱転倒時にワイヤの下げ込み防止として設けられたステンレスストラップに干渉しないため、ワイヤロープによる衝撃緩和性を維持できます。</p>	

※株式会社ネクスコ・メンテナンス東北と共同開発製品です。

<p>ゴム製視線誘導標「KD-100」、自発光タイプ「KDL-140」</p>	<p>スマートシャインシート</p>	
 <p>■ KD-100 製品写真</p>	 <p>■ KDL-140 製品写真</p>	 <p>■ スマートシャインシート 製品写真</p>
<p>設置箇所：支柱上部</p>	<p>設置箇所：支柱上部</p>	<p>設置箇所：ワイヤロープ部</p>
<p>ワイヤロープ式防護柵に取り付けられるゴム製の視線誘導標（デリネーター）です。ワイヤロープ式防護柵に車両が衝突しても、デリネーターが飛散しない設計で、二次被害を軽減できます。</p>	<p>ゴム製視線誘導標の自発光タイプです。ワイヤロープの接続部（ターンバックル部）などに設置することで、管理用の目印としても活用できます。</p>	<p>柔軟性と耐候性の高いゴムを使用し、全面に再帰性反射材ガラスビーズを塗布した反射シートです。ワイヤロープ部を可視化させ、運転者へ道路の線形を誘導することで、事故発生の危険性を低減するものです。</p>

以上